

渡瀬 啓 (Kei Watase)

〔原著〕なし

〔著書・総説〕

1. Watase K*. SCA6: lessons from faithful knock-in mouse models. 2015.
Neurology and Clinical Neuroscience, 3(1): 14-17
2. 渡瀬 啓 マウスモデルの解析を中心とした脊髄小脳変性症 6 型の病態解明. ブレインサイエンスレビュー 2015 廣川信隆 編、クバプロ p233 – 252 (2015)

〔国内学会〕

1. 脊髄小脳失調症 6 型モデルマウスの早期炎症反応は病変形成に関与する
相川 知徳、茂櫛 薫、飯島 久美子、櫻井 美弥乃、石川 欽也、田中 博、水澤 英洋、渡瀬 啓第7回東京医科歯科大学CBIR若手インスパイアシンポジウム 東京医科歯科大学 東京 2015. 2. 21
2. 渡瀬 啓、相田知海. CRISPR-Cas9法によるVps35変異アレルの迅速作製. 第55回日本神経学会総会 福岡 2014. 5. 23.
3. 相川知徳、茂櫛 薫、飯島久美子、田中 博、水澤英洋、渡瀬 啓. Early neuroinflammatory response in SCA6 mouse models. 第 55 回日本神経学会総会 福岡 2014. 5. 23.

〔研究助成金〕

平成 25－26 年度文部科学省科学研究費補助金新学術領域研究「Ca_v2.1 遺伝子異常による神経機能障害の解明」課題番号：25282241 研究代表者 渡瀬 啓

平成 25－27 年度 日本学術振興会科学研究費補助金基盤 B 「リソソーム蓄積を標的とした SCA6 の治療法開発. 課題番号：25110712 研究代表者 渡瀬 啓

平成 26 年度 文部科学省科学研究費補助金挑戦的萌芽研究 「CRISPR/Cas9 システムによる神経疾患モデル ES 細胞群の樹立」課題番号：26670438 研究代表者 渡瀬 啓

第 46 回(2014 年度)内藤記念科学研究助成 「幹細胞のゲノム編集を利用した神経変性疾患の病態探索」 研究代表者 渡瀬 啓

〔特許〕 なし

〔その他の業績（マスコミ発表、アウトリーチ活動、学会主催、受賞 etc.）〕 なし

3) 班員間の共同研究について

渡瀬-岩坪: 遺伝性パーキンソン病(PARK17)ノックインマウスモデルの病態解析で協力し、シヌクレインの **propagation** に遺伝子変異が及ぼす影響についての検討を加えた。

渡瀬-永井: 脊髄小脳変性症 1 型(SCA1)ノックインマウスモデルの病態解析で協力し、, 大脳皮質ニューロンのスパイン形成異常についての知見を得た。